



就任のごあいさつ

全日本花いっぱい連盟 会長 臥雲 義尚

この度、令和2年度全日本花いっぱい連盟総会において選任され、会長に就任しました、松本市長の臥雲義尚でございます。花いっぱいだよりの紙面をお借りしてごあいさつ申し上げます。

会員の皆様におかれましては、平素より当連盟へご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昭和27年に小松一三夢先生が提唱され、松本で始まった「花いっぱい運動」は、全国各地で様々な市民運動としての取り組みが行われ、発祥の地の市長として大変嬉しく思います。

コロナ禍という厳しい状況ではありますが、それぞれの地域で花いっぱい運動の理念である「社会を美しく、明るく、住みよくする」をより一層推進していただき、花いっぱいの明るい未来を目指しましょう。



大手前通り市民花壇植栽

今年3月からは、不要不急の外出やイベント、食事会等も見直され、ステイホームを余儀なくされ精神的にも落ち込まれた方も多いと思います。しかし、私たちには「花とみどり」という強い味方がいます。楽しみながら花やみどりを育て、鑑賞することによって心に余裕が生まれ、毎日、自然を味方に有意義に過ごしていけるのではないのでしょうか。

コロナウイルスが落ち着きを見せ、1年延期となった「全日本花いっぱい名護大会」が来年度無事開催されることを願っております。



市花さぎ草栽培展出品



大手前通り市民花壇植栽集合写真



市章花壇ペチュニア

姫路花銀行は、昭和47年に設立し、現在（令和2年度）会員数56名で女性を中心になって活動するボランティア団体です。

花とみどりを愛する者があい集い、花とみどりに関する研修、情報交換等により、相互の親睦と知識および技術の向上を図ると共に、広く町を花とみどりでいっぱいにする運動に主体的に参加することを目的としています。

今年は、全国的に大変な酷暑になりました。ここ姫路市では8月には記録づくめの猛暑の中、月間雨量も

姫路市

和やかに協力しあつて

姫路花銀行会長

山下

紀年

のりとし



過去最低となり、花壇の水やり、管理に四苦八苦しました。姫路市から委託され管理をしている市章花壇には、6月上旬にペチュニア、9月上旬にはトレニアを植栽しました。その他、姫路市役所南の三宅公園や姫路城の天守が望める大手前通り市民花壇の植栽も行ってきました。

そのような活動の中で、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため姫路花銀行が参加する予定のイベントが全て中止になりました。



市章花壇トレニア植栽

第30回(令和2年度)花壇づくりコンクール受賞花壇



殿堂入り花壇
富士宮花の会小泉支部
5年連続(H27~R1)最優秀賞



最優秀賞(会長賞)
阿幸地区西花の会



最優秀賞(市長賞)
芝川花そう会長買支部

富士宮市
第62回(令和5年度)全日本花いっぱい大会開催都市
静岡県富士宮市の紹介

花壇づくり活動の様子



芝川花そう会
春季の発芽花苗ポット植替え作業



富士宮花の会
支部共同のプランター花壇づくり作業

富士宮市は静岡県の東部、世界文化遺産となった「富士山」の南西麓に位置する人口約13万人のまちです。富士山の豊かな自然や景観、豊富な湧水や食資源に恵まれており、地域の約46%が富士箱根伊豆国立公園に含まれています。平安時代に創建された「富士山本宮浅間大社」

は、全国に約千三百社ある浅間神社の総本宮であり、門前町としての歴史を物語るとともに本市のシンボルとなっています。主要な交通は国道139号、JR身延線が通り、昔から東海道と甲州を結ぶ街道や富士登山の宿坊が発達し、交通の要衝及び富士山信仰の拠点となっています。産業面では、広大な富士山麓における農林業をはじめ、豊富な湧水・地下水を利用した水産業(ニジマス養殖)や製紙・パルプ業、飲料食品・医薬品・機械器具等の各種製造業が盛んです。また、観光面では、近年「富士宮やきそば」が全国的に有名となり、代表的な観光地として、世界遺産の構成資産である「富士山本宮浅間大社」や「白糸の滝」、世界遺産の学術文化発信の拠点である「静岡県富士山世界遺産センター」のほか、休暇村富士を併設する「田貫湖」があり、夏期には「富士宮口五合目」からの富士登山など、年間約600万人の観光客が訪れます。



浅間大社前の神田川広場
ハンギングバスケットと富士山を望む

みは、市民活動による花壇づくりや公共施設の緑化などを中心として、特に、平成25年6月の富士山の世界遺産登録以降、外国人を含めた来訪者の増加を踏まえ、美しい花いっぱいのまちづくりを積極的に展開しています。

市内には、花の愛好団体として、会員数百人規模を誇る富士宮花の会と芝川花そう会をはじめ、自治会等が組織する地域の花の会が数多く存在しています。また、小中学校での花壇づくりも盛んです。今年で30回目を数える「花壇づくりコンクール」には、上位入賞を目指して、毎年60団体近くが参加しています。市では市民の皆さんが継続して活動しやすい環境づくりに努め、支援体制や助成制度の充実を図ってきています。

令和5年度の大会では、市民・企業・学校・行政がさらに一体となつて取り組むとともに、花いっぱいによるおもてなしの空間づくりを推進し、来訪者の皆様をお迎えしたいと考えています。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



市営の白糸自然公園
雄大な富士山と菜の花畑

名護市 令和3年度全国大会開催

名護市は、沖縄本島北部に位置し、山々が連なり、清らかな川が流れ、三方に開けた美しい海がある山・川・海を有する山紫水明の地で、自然環境に恵まれた街です。「さくら名所100選」の名護城址や国の天然記念物に指定された街のシンボルとなる「ひんぷんガジュマル」があり、四季をとおして楽しむことができます。

また、集落に点在する御嶽・拝所や豊年祭などの伝統的な祭事、国指定重要文化財「津嘉山酒造所施設」や県指定有形文化財「屋部の久護家」の伝統的建造物など、歴史・文化的資源が多く存在しています。

当市では、道路・公園・民家等、あらゆる場所において花が見られる街「フラワースィティなご」を推進しております。

を生産し地域の花壇、職場の花壇等に植栽しています。市民活動の拠点である地域や職場等に植栽することで、花いっぱい運動の活動の輪を拡げています。

また、花いっぱい運動を契機にフラワーフエスティバルや各地域のオープンガーデン等、地域団体主体の花に関するイベントが毎年開催され、市内や県内にお住まいの方はもちろん全国からも多くの方にお越しいただいております。

これからも市民活動を主体とした緑化活動やイベントが活性化できるような「フラワースィティなご」を推進していきます。

平成10年には、花いっぱい運動の母体として、市民団体である花の里づくりの会が発足し、各区、団体のボランティアに支えられ、年間24万本の苗

令和3年度に、当市で「全日本花いっぱい全国大会」を開催することが、全日本花いっぱい総会で可決されました。大会開催時には精一杯の花のおもてなしで、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



ボランティアによる苗の生産



ボランティアによる植栽



オープンガーデン



フラワーフェスティバル

第48号

発行日

令和2年10月

発行 全日本花いっぱい連盟事務局

長野県松本市中央1-18-11

Mウイング2F

TEL 026313213042

FAX 026313216511